水俣・芦北地域戦略プラットフォーム
第22回地域戦略検討会のお知らせ
（第37回課題検討会）

『脱水銀社会』シリーズ②

水銀リサイクルの現状と課題
イトムカ視察から水俣湾埋立地の今後を考える

シリーズ「脱水銀社会」第2回となる今回は、北海道の水銀鉱山跡に立地する**「野村興産イトムカ鉱業所」の視察報告**を中心に進めていきます。

イトムカ鉱業所の廃棄物処理プラントは、世界でもトップクラスの高性能を誇り、全国から運搬された廃棄物は、それぞれ最適な方法によって処理されます。使用済み乾電池、汚染土壌はロータリーキルン、汚泥類は多段式焙焼炉、医療廃棄物などは高温焼却炉、乾留ガス化焼却炉で処理し、蛍光灯はカレット化工場で高品位カレットを製造するなど、各種プラントを有しております。また敷地内には管理型の最終処分場を備えており、中間処理から最終処分まで『完結型のリサイクル施設』だということがイトムカ鉱業所の最大の特徴と言えます。（イトムカ鉱業所ホームページより）

実際にイトムカを視察された「みなまた地域研究会」の大嶽弥生さん、永野隆文さん、山下善寛さんのご報告を聞きながら、**日本における水銀リサイクルの現状と課題**を考えます。さらに、**水銀条約**に述べられた「汚染された場所の特定・評価・管理・修復」等を念頭におきながら、**水俣湾埋立地の今後**につながる議論をしたいと思います。

みなさんのご参加をお待ちしております。

話題提供 みなまた地域研究会

大嶽弥生さん　永野隆文さん　山下善寛さん

コーディネート　中地重晴　熊本学園大学 社会福祉学部 教授

日時　2014年9月29日（月）19:00～21:00

場所　熊本学園大学 水俣学現地研究センター

水俣市浜町2-7-13（水俣市公民館裏、婦人会館向かい）　TEL・FAX 0966-63-5030

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」世話人会・事務局
熊本学園大学水俣学研究センター　藤本延啓

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」とは

「負の遺産」としての水俣病事件をベースに、人間としての生き方、日々の暮らし、地域社会（教育、環境、福祉、経済、政治など）のあり様を問い直そうとする市民、NPO、研究者、民間事業者、行政職員など多様な関係者の〝出会いの場、学習の場、討議の場〟であり、また、〝新たな価値（生活文化）を創造する「場」〟として位置づけられた舞台（プラットフォーム）です。

熊本学園大学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY